

## 第 16 回小金井マスターズ開催される

第 16 回小金井マスターズが、10 月 23 日(水)に東京都小平市にある名門小金井 CC で参加者 25 名で行われた。昨年は 40 名であったことを考えると少し寂しい気がする。白井 透さんが亡くなり 1 年経過すると、同氏の「集合の神通力」が如何に偉大であったかが偲ばれる。当日の天気は曇り一時雨の中、長野組 5 名、女性 1 名、最年長 掛川十次郎さん(52 期) 最年少 竹村淳一さん(103 期)と、近隣遠方・老若男女等多くの参加は昨年と同様であった。当日は新ペリア方式で行われ、優勝者は丸山暢久さん(65 期)(グロス 98、ネット 72)、準優勝者は筆者古畑克巳(69 期)(グロス 90、ネット 73.2)、3 位は山岸憲雄さん(60 期)(グロス 93、ネット 73.8)と立派な成績であった。懇親会では、優勝者の丸山さんから、「東京メトロの IPO 抽選から漏れる等、最近あまりいいことがなかったが、今回でツキが回って来た」、準優勝者で幹事の古畑からは「準備に半年要したが皆さんに喜んで頂き自らも受賞と嬉しい限りである」、3 位の山岸さんからは「18 番(ロング)のパーは嬉しかった」等素直な感想が聞かれた。また、最年長 89 歳の掛川十次郎さんは「この近くに住んでおり、小金井 CC の前は頻繁に通っているが、プレイをしたことが一度もなかった。いつかプレイをしたいと思っており今日実現できて本当に嬉しい」と挨拶があった。今回は参加者の中に有名なお医者さん 2 名が参加されていたので、突然の指名で申し訳ないと思ったが、幹事の独断で「高齢者の生きがいは何に求めたら良いか、また我々高齢者がこの暑かった夏の身体のアフターケアとして何に注意すべきか」を伺った。まず、福内 敦先生からは「自分は長い間三井記念病院で、乳がん、甲状腺がんの専門医として勤務してきた。その時の上司であった医者の生き方に感銘を受けた。現在 103 歳で存命だが、その先生のモットーは①へこまない、②気持ちを高く持つ、③好きな事を続ける事であり、今もそれを実践している。要するにすべて楽観的に考え、あまり悲観しないことが医学的にも大事だということである。一方、黒澤博身先生は「長い間心臓外科として診察にあたってきた。ここ数年の暑さは心臓、腎臓に大きな悪影響を与えてきている。この暑さは地球環境の大きな変化の中で起きているので将来も続く。それに対する予防はこの秋、冬に腎臓機能を元に戻し、来年の夏までにリセットしておかないと負荷がより重くなる。そのための方法は、①十分な睡眠をとる、②十分な水分をとる、③塩分は控えめにする。ごく当たり前のようだが、これが出来ていない人が多い。この時期は来年のための機能回復の重要な時期である」と話された。お二人の説得力のある話を伺い「ゴルフも楽しかったが、お二人の話も本当に為になった」という参加者が多かった。最後に、来年 2025 年の日程が確定したのでお知らせします。春は千葉 CC・川間コースで 4 月 4 日(金)、秋は小金井 CC で 10 月 22 日(水)となりました。多くの方のご参加をお待ちしております。

連絡先 jlc3685.b8@gold.zero.jp

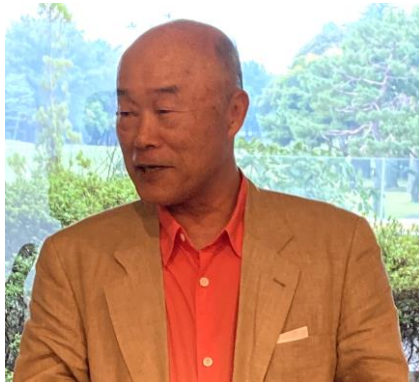
幹事代表 古畑克巳(69 期)



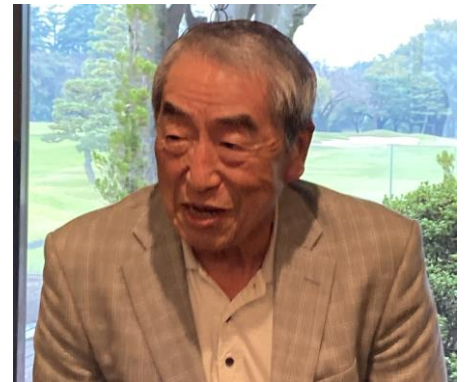
スタート前の集合写真



準優勝 古畑克巳さん  
(69期：幹事代表)



優勝 丸山暢久さん (65期)



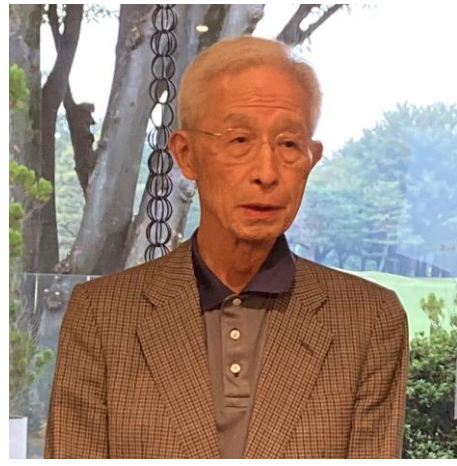
第3位 山岸憲雄さん (60期)



ベスグロの芝間志浩さん  
(72期)



最年長の掛川十次郎さん (52期)



福内 敦さん（73期：左）と黒澤博身さん（60期）による高齢者健康講話



懇親会の様子